

AJU愛実

第45号 会報

編集: 特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

定価:一部100円

いのちの終わりはいのちのはじめ／島 しづ子	・P1
島さんへの感謝の言葉	・P2
法人活動報告	・P3
ホームページリニューアル	・P4
大地の家	・P5～6
紙風船	・P7～8
「島さんと愛実の会と僕と」／中森 由哉	・P9
寄付者名簿	・P10



成人のお祝い



静的弛緩誘導法 研修会にて



いのちの終わりはいのちのはじめ

理事長 島 しづ子

「球根の中には」(讃美歌21・575)という讃美歌があります。1,3番の歌詞は以下です。

- 1 球根の中には 花が秘められ さなぎの中から いのちはばたく
寒い冬の中 春はめざめる その日 その時を ただ神が知る
- 3 いのちの終わりは いのちの始め おそれは信仰に 死は復活に
ついに変えられる 永遠の朝 その日 その時を ただ神が知る

愛実の会の前身である「障がい者・友だちの会・愛実」が名古屋市から補助金をもらえるようになったのは1995年4月以降のことでした。そのことを知らせる会報(N057, 1995年3月21日発行)は奇しくも娘・陽子の追悼号でもありました。当時の代表であった長村秀勝さんが巻頭言に「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」(ヨハネ福音書12章24節)を引用して「小さいがゆえに、弱いがゆえに、周りの方々に支えられ、育てられ、祈られてきた結果の一つの『愛の実』です」と書いておられます。

陽子が亡くなって25年後の2020年2月16日にすばらしい出来事がありました。豊明新生教会に招かれて礼拝の奉仕をさせて頂きました。私だけでなく「紙風船」も一緒でした。先立つ2019年9月28日に名古屋堀川伝道所は「創立50周年記念事業」を愛実の会を会場に行いました。その時に「大地の家」のミュージックケアの公開、「紙風船」の人形劇「ボーちゃん」が公演されました。その後に、私がこれまでの歩みから学んだことを講演しました。その時にお出でくださった河合佐紀先生のお招きで豊明新生教会に私と「紙風船」が伺うことになりました。2月16日「紙風船」舞台準備班は早めに教会に着き、舞台の設置をしました。私が着いた時には舞台は完成し礼拝開始を待つばかり。礼拝堂の半分以上は舞台になり、舞台をバックにして私と紙風船メンバーとアシスタント、ギター伴奏の角田共生さんが並んで礼拝に参加しました。礼拝に来られた方々と向かい合いながら、私は深い喜びを感じていました。なぜならその教会は25年前の1月26日に逝去した娘の葬儀をして頂いた場所だったからです。

娘は1歳3ヶ月の時に重症の床から奇跡的に生還し、重度の障がいを持ち、必死に生きました。16歳で力尽きて亡くなりました。ずっと娘のいのちのことを考えてきました。娘を通して出会った娘の友だちとご家族、アシスタントや数え切れないボランティアの方々。メンバーとの共同生活、アシスタントとの協同を通して学んだことは宝物です。出会いによって私は弱さや死の呪縛から解放されて自由に生きることができるようになりました。娘の代わりに私の手を必要としてくれたメンバーたち。支えてきたつもりでしたが、メンバーたちに慰められ、導かれてきたことを思います。弱さを避けるのではなく、それらこそいのちの中心にある大事なものであること、弱いもの同士が助け合って生きれば世界は平和になることを示唆されてきました。

4月で72歳になります。次の世代にバトンタッチする時が来ました。天に還られた方々や娘のいのちが実を結びつつあることを見させて頂いたことに感謝しています。4月1日からは沖縄・南城市にある「うふざと伝道所」の牧師として赴任することになりました。みなさん、今までありがとうございました。今後も変わらぬ愛情で「愛実の会」を見守って下さいますよう心からお願いいたします。

島さんへの感謝の言葉

島さんから感謝の気持ちを表す「有り難う」の言葉をよく聞きます。「有り難う」ほど心が温くなる言葉はないな…と今は思います。簡単そうと言えなかった、いや心から「有り難う」と言えなかった自分が成長できたのは、島さんのおかげだと思っています。生意気・素直じゃない・傲慢な私は、島さんからの助言を素直に受け止めることができませんでした。

感謝の気持ちが無い私がしたことは、島さんを遠ざけること。本当に失礼な人間だったと思います。そんな私を見捨てることなく、見守ってくれていた島さん。感謝の気持ちが無い私を襲ったものは…絶対に自分が陥るとは思わなかった心の挫折…そして、仕事・生活全般への無気力が私を襲いました。そんな私は家族と島さんの支えにより、心の健康を少しずつ取り戻し、2ヶ月後にはほぼ回復して元の生活に戻ることができました。心の挫折を患った人の中では、かなり最速で回復したと思います。心から思うのは日々の生活が普通にできる事が有り難い。

今、この場所でパソコンに向かい、会報に島さんへの送別・感謝の言葉を伝える機会が与えられたことに感謝します。島しづ子さん、あなたの支えにより私の心は救われました。本当に有り難うございました。 齊藤 美佐子

私が愛実の会に入社をしてまもない時のことです。島さんに初めてお会した時、私の名前を呼んで笑顔で挨拶をしてくださり、「入社をしてくれたことにありがとう」といってくださったことにとってもびっくりしました。今まで働いてきた職場では、理事長や理事の方々は基本挨拶をしてくれませんでしたし、名前も覚えてもらえなかったです。話す機会もほとんどないので仕方のないことですが、島さんに声を掛けて頂きすごく嬉しかったことを覚えています。

2020年4月でアシスタントとして9年目になります。人形劇団紙風船も私自身も島さんにたくさん支えてもらい、本当に感謝しています。沖縄で牧師を引き継がれるとのことで、ご活躍をされることを願っています。名古屋に帰ってこられた際には是非、紙風船にも遊びに来ていただけるととても嬉しいです。私たちも、今よりもっといい人形劇を作っていきます。応援を宜しくお願い致します。 石川 裕右

愛実に勤め始めた当時は、大地の家がまだ熱田区の働く人の家でデイサービスを行っていました。その頃の島さんは、多忙を極めておられ、私の知っている限りでも、メンバーの送迎や泊り、昼食に必要な食材の準備からそれに伴う人手の確保。その他にも雑務をこなされていて「身体は大丈夫ですか」と内心想っていました。

私がぎっくり腰になり、体調の優れない時に島さんは「おてあてね」と背中や腰にそっと手を当てて、しばらくそのまま、するとその手の温もりが身体に伝わり、不思議と楽になりました。メンバーにされている事を、私にもやって下さっていたのだと後に気付きました。

島さんは誰に対しても優しく、パワフルでバイタリティーに溢れ、それでいて常に周りの人達にも気遣われていて、私もこれまで数えきれないほど相談にのって頂き、その都度的確なアドバイスをいただきました。島さんとの出会いがなければ16年もこの仕事を続けてこれなかったと思います。感謝の言葉もございません。

長い間お世話になりました。新天地での益々のご活躍、心よりお祈り申し上げます。これからもお体を大切になさってください。 小野 育代



法人行事報告



12月14日(土) クリスマス会

愛実の会にて、名古屋ワイズメンズクラブ主催のクリスマス会が開催されました！生バンドの演奏や西アフリカ起源の太鼓であるジャンベの演奏を披露して下さいました。曲の振付や合いの手をレクチャーしていただき、メンバーも一緒に参加し、楽しむことができました。今年は、昼食に中華料理を作っていただき大地の家・紙風船の部屋で一緒においしくいただきました。その後、大地の家・紙風船のメンバーからお礼の品を渡し、お返しにクリスマスケーキのプレゼントがありました。とても楽しい時間を過ごすことができました
(大地の家アシスタント)

12月20日(金) 趙 博さんミニコンサート

昨年12月20日、愛実の会にパギヤンこと趙博さんが来てくださり、愛実の会メンバーやアシスタントに素敵な歌を聞かせてくれました。ギターとハーモニカを使って、とても力強い声で語りかけるような歌でした。また、民族楽器の太鼓をたたきながら、アリランの歌を私たちみんなで歌いました！サビの部分をもず丁寧にご教えてくださったので楽しく歌えました。メンバーも楽しそうに心残るミニコンサートでした。
(紙風船アシスタント)



2020年1月24日(金) 防災訓練

今回の防災訓練は港消防署から防災担当の方を招き、福祉施設火災の初期対応についてのDVDを観た後、お話を伺いました。メンバー、アシスタントともじっと見入り、お話もしっかりと聞きました。

メンバーからは自分で避難できないから火事は怖いという感想があり、アシスタントも普段から役割分担や避難経路を確認するとともに、まずは落ち着くことが大切ということを確認しました。繰り返し防災について理解を深める時間を取り、防火・防災意識を高めていこうと思います。
(大地の家アシスタント)

2月19日(水) 成人のお祝い

紙風船のメンバーである、Mさんの成人を祝う会が2月19日に行われました。会では、Mさんにまつわるクイズや、これまでの歩みをまとめたフォトムービーを上映し、とても賑やかで楽しい会となりました。また、53名もの方が出席して下さり、多くの方と共に成人という新たな門出を祝いました。ご成人おめでとうございます。
(紙風船アシスタント)



ホームページリニューアル ～ガイヘル日記～

愛実の会のHPが昨年12月から完全リニューアルされました

<https://www.aminokai.com> または 愛実の会 検索

活動の様子やイベント・お知らせなど最新情報を随時公開していますので是非ご覧ください。今回は居宅介護事業所あみから「ガイヘル日記」を紹介します。

ガイヘルとはガイドヘルプの略で外出時の移動支援を行うサービスです。一人での外出が困難なメンバーに対して付き添いながら必要な介助を行います。外出の支援には様々な制度の分けがあり、多くのメンバーは重度訪問介護での移動支援を利用しています。通院時の付き添いや買い物・外食、余暇支援等が主な外出先となります。ガイヘル日記では余暇支援の様子をFacebookにアップしてHPでも公開しています。

お出かけ先はメンバーと一緒に相談し、ご家族とも確認を取り計画を立てます。移動手段や車イス対応トイレがどこにあるかがとても重要です。そして様々なイベントへの参加や車イスを押しながら街を歩いて見ると、移動の不便さにいつも遭遇します。今まで全く感じなかったバリアを感じ、いろんな発見と出会いがあることに注目をしています。それは、困っている時、必ず誰か（見ず知らずの通行人）が声をかけてくださり、何気ない手助けがあるということです。100%＝ドアを開けてくれたり、席を誘導してくれたり、場所を開けてくれたり、一緒に車イスを持ち上げて段差乗り越えたり……。これらのふれあいは、実は不便さがあって生まれていることなんです。そしてだから、「今日はいいい日だ!」とを感じるのです。障がいを持った人たちの社会参加は以前より進んではいますが、愛実のメンバーにはまだまだハードルの高い活動なんです。外出の機会が増えていくと、ふれあいの機会も増え、もっともっとみんなのいい日になると思うのです。ガイヘル日記はこんな思いを込めて綴っています。

ガイヘル日記

松坂屋で開催のムーミン展に行ってきました!! 最終日で混んでいましたがムーミン谷の住人さんたちは奇々怪々、独特の個性から不思議な世界観が感じられますね!!

その後、流行りのカフェでお茶して楽しみました。知らない方に席を確保してもらったり、いろいろ助けられました。今日もいい日だ!!



※新型コロナウイルスの影響から2月～外出活動をしばらく控えています。



大地の家

11月-2月

にぎやかなクリスマス会

大地の家では12月にクリスマス会が二回ありました。
一度目は12/7に、名古屋ワイズメンズクラブのみなさん
によるクリスマス会。

もう一回は12/16に大地の家全体でのクリスマス会です。

理事長によるクリスマス礼拝では、クリスマスにちなんだお話や大地の家の始まりのころのお話などがあり、クリスマスについて考えるとともに、大地の家の成り立ちについても深く考えました。

午前中には、普段の実践の中でも取り入れているミュージックケアをメンバーだけでなく、参加されたご家族やゲストにも体験していただきました。

音楽に合わせて体を動かし、体を大きく伸ばしたり、前後に動いたりしました。

慣れない動きも多くあったかと思いますが、戸惑いながらも和気あいあいと参加していただけたことを嬉しく思いました。

最後には参加者全員で手を握り合い、大きな輪を作りました。

メンバーとアシスタントだけでなく、ご家族やゲストも参加していただいたことで、普段よりも遥かに大きな輪が作られ、参加していたメンバーにも笑顔が見られました。

午後にはアシスタントによる出し物を行いました。

ここ数年の定番になっている、トーンチャイム演奏を行いました。今年は「ひいらぎ飾ろう」を演奏しました。

また例年と違い、電子ピアノや太鼓、トライアングルなど様々な楽器を用いて「カントリーロード」の演奏も行いました。

送迎業務やシフトの調整などで、なかなか全員が揃うことがなく、練習を行うこと自体にも苦労しましたが、一つの曲を何人かで奏でることの難しさを練習の都度実感しました。

本番で観客の皆さんにどのように聞こえたかわかりませんが、練習以上の成果が出せたように思います。

ただ、楽しい演奏になる予定だったのに、余裕が無く必死になりすぎてしまい、アシスタントが笑顔を出すことができなかったことが心残りでした。



↑クリスマス礼拝の様子



↑ミュージックケアを体験していただきました



↑みんなで食卓を囲みました



↑午後のお出し物

季節感をモチーフに

ご存じの通り、大地の家には重い障がいを持つ方たちが通っています。

彼らの普段の生活の中ではなかなか外出活動を行うことが難しく、季節感を味わいにくくなっています。

多くの人にとって、ご自宅と施設の往復が主な外出になっています。

大地の家の活動の中では「季節感」を大事に活動を行っています。

すべての活動に季節を取り組むことはできませんが、季節の行事などを活発に行っています。

この間「クリスマス」「お正月」「鏡びらき」「節分」「ひな祭り」などの活動を行ってきました。

どの活動も、メンバーがどのように参加できるのか、季節を感じるにはどうしたら伝わりやすいのか、などということを考えて実施しました。

視覚にも他の感覚にも訴えかけるよう工夫を凝らし、メンバーの参加しやすい形をその都度模索しています。

感じ方がメンバーによって大きく異なるので、すべてのメンバーが楽しむことは難しい部分がありますが、全てのメンバーに季節を感じてもらえたらうれしく思います。

来年度も、外出活動だけでなく、室内活動でも積極的に季節をモチーフに活動企画を行いたいと思います。



↑ 張りぼて鏡餅で鏡開き



↑ 鬼のボードに豆まき



↑ 紙皿を使ってひな祭り

ミュージックベル演奏会

今年も南山幼稚園ミュージックベルサークルのみなさんにお越しいただき、演奏会を催していただきました。

もう何年前からになるか定かではありませんが、サークルの皆さんには毎年2月に定期的に訪問いただいています。

長い間訪問いただき、感謝の気持ちでいっぱいであると同時に、今年はどんな曲を演奏してもらえるのだろう？と楽しみにもしています。

当日の演奏は圧巻でした。

何回も練習されたのだろうと思うくらい、音もぴったりと揃っていて、メロディも軽やかで、つつい聞きほれてしまうような演奏でした。

軽やかな音楽と心地の良い響きの音色に、集まったみんなも、注目していました。

また来年もお越しいただけることを楽しみにしています。



いつも大地の家の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

「大地の家に」と大地の家指定でいただいた寄付は、音楽活動の充実や遠足実施を目的として大切にに使わせていただいています。

今後も引き続きご協力をお願いいたします。



紙 風 船



暖冬と言われた冬も終わり、空気が少しずつ春めいてきました。変化の多かった一年、メンバー・アシスタントはお互い協力して乗り越えてきました。4月には新しいメンバーを迎え、新作への取り組みも始まっています。紙風船はまだまだ飛び続けます！

令和最初のクリスマス会

2019年のクリスマス会は、人形劇団ひつまぶしさん・桜でんぶさんをゲストに迎え、いつもとは少し違ったイベントとなりました。歌と音楽の中で流れていく物語やひとりで2体を操作する舞台は、メンバー、アシスタント共に大変勉強になり、刺激を受けました。

午後からの交流会でも劇団員の方々がメンバーに優しく接してくださり楽しい時間を過ごすことができました。

この交流をきっかけに、紙風船の活動範囲がさらに広がっていくことを願います。



全員集合！



ひつまぶしさん

桜でんぶさん



毎日新聞の取材

紙風船の活動と公演の様子が新聞に大きく掲載されました！毎日新聞2020年1月28日号地域欄ほぼ1ページに大きく取り上げていただきました。毎日新聞の写真記者の方が、昨年11月の公演の際に紙風船の事を知り、もっとたくさんの人に伝えたいと取材を申し出てくださったのです。

取材では、普段のメンバーの様子や想いなどを丁寧に聞き取ってくださいました。また、掲載されなかった写真や当日の紙面も送ってくださいました。

計3日間の取材でメンバーとも仲良くなり再会の約束もしました。またひとつ、新たなつながりが生まれた事をうれしく思っています。



絶妙なカメラアングル！





公演だより



【公演報告】

- 第257回 12月15日(日) 紙風船クリスマス会にて「ボーちゃん」
258回2020年1月13日(月・祝) 日本キリスト教団岡崎教会「ボーちゃん」
259回 2月16日(日) 日本キリスト教団豊明新生教会「ボーちゃん」

役者デビュー！そして新たな挑戦

年明けすぐの公演で初めて役者挑戦したメンバーがいます。紙風船のメンバーになって一年を迎えたK.Mさんです。Kさんは、初め音響や挨拶担当が主な役割でした。でもその後、セリフ合わせや人形の操作、そして舞台の中へ、と自分の世界をどんどん広げ、岡崎教会の公演では努力の成果を発揮してくれました。当日は、紙風船始まって以来の少人数で行いました。不安もありましたが全員の協力とお客様の温かい応援の中で今まで以上に中身の濃いものとなりました。

これから紙風船は新作に挑戦していきます。この日、お客様から作品のヒントをたくさんいただきました。それらを基に、紙風船ならではの作品作りをしていきたいと思います。



1人2役をこなしたKさんとキツネに初挑戦したTさん☆



夢づくり基金にご協力をお願いします

紙風船は、2020年6月までに新作に挑戦することになりました。演出家のおばら先生のご意見を取り入れながら、全員で準備を進めています。お披露目できる日に向かって力を合わせていきます。新作ができあがるには人形制作など諸経費がかかります。ぜひ紙風船の夢づくりにご理解ご協力いただけますよう、よろしくお願いします！振込みの際、寄付金一夢づくりと表記をお願いします。

日々の活動の様子、公演予定などをSNSで紹介しています！

ぜひご覧ください！

人形劇団紙風船



島さんと愛実の会と僕と

監事 中森由哉

僕が島さんと初めてお会いしたのは、1993年4月、その年の3月に大学を卒業して4月より「さふらん生活園」という知的障がいのある方の作業所で非常勤職員として働き始めて間もない時でした。月曜日の朝、さふらんのメンバーとアシスタントの礼拝に島さんがお話するために来られた時でした。玄関で島さんとあいさつをしたことを覚えています。

礼拝のメッセージで島さんは娘さんの陽子さんのこととお話しされました。島さん著作の本をそれ以前に読んだことがあり、「ああ、この人が島しづ子さんか」と思ったことを記憶しています。娘さんの陽子さんとは、同じ年の10月、日本キリスト教団中部教区「障がい者と教会」委員会主催の交流集会で初めてお会いし、4月に島さんと初めてお会いした時と同じく「ああ、この人が陽子さんか」と思ったことを記憶しています。

僕が愛実の会に関わりだしたのは、さふらん生活園の非常勤職員になってから約一年後の1994年からでした。最初は週1回のアルバイトから始め、1995年度からは愛実の会のアシスタントとして働かせて頂くことになりました。この年は愛実の会が運営する「愛実友だちの家」が、名古屋市の「重症心身障害児者小規模通所援護事業」という制度の補助金を受けて、4月よりスタートした時でした。島さんの娘さんの陽子さんはこの年の1月に天国に帰られ、愛実の会は大切な存在を天国にお送りし新しいスタートを切りました。新しいスタートを切って一カ月後に突然愛実の会の一人のメンバーのお母さんが天国に帰られました。さあ残されたメンバーの生活をどうするか、ということで島さんは中心となって尽力され、様々な施設等もご覧になったうえで「愛実友だちの家」を夕方から朝にかけても活用し、愛実の会でこのメンバーの生活全体を支えていこう、と提案され正直先行きどうなるのかわからないという懸念も会の中の話し合いで出されましたが、最終的には愛実の会でナイトケアが開始されました。ちなみにこのメンバーの方の現在は、ホームヘルプ、生活介護（デイサービス）、ショートステイを活用しながら自立生活を送っておられます。この自立生活の原点が今から約25年前にあったのだ、と思っています。

僕が愛実の会で働き始めた頃、愛実の会で大切なのは「無理をしないこと」「必要最小限のものを求めて歩む」ことを聴きました。たぶんこの2つのことはつながっているのだと思います。無理してあれをしよう、これを得ようと考えたり、もっともっとと際限なく何かを追求しだすと結局メンバーとじっくり向きあうことやメンバーの存在を見つめるということが失われてしまうのかな、と感じます。

愛実友だちの家に続いて1997年度より「大地の家」が愛実友だちの家と同じ名古屋市の補助金制度を活用してスタートしました。

2003年度からは、支援費制度という新しい制度にのっとり、ホームヘルプ事業を開始しました。制度になくても必要なことは創意工夫し、活用できる制度は積極的に活用する歩みであったと感じています。

今改めて振り返ってみる時、僕は島さんより言葉と行動を通して多くの励ましとメッセージをうけたことを感謝しています。4月からは沖縄で「無理をせず」「必要なことを求めて」歩まれることを祈っております。

【NPO愛実の会寄付者名(順不同・敬称略) 2019年11月1日～2020年2月29日】

★ 寄付金

河内 常男	岩本 直美	松本 普	塚田 多佳子	加藤 久雄
水戸 潔	伊藤 英昭	田中 綏子	小松 康宏	石田 周介
土屋 美恵子	小田 弘平	伊藤 まり子	桂 正枝	前田 栄子
渡辺 真悟	上泉 淳子	伊藤 あつ子	笠谷 恵子	風間 文子
渡部 千枝	西川 道子	和田 芳子	塚田 正昭	吉丸 あさ子
堤 肇	野崎 典子	野澤 久枝	橋本 直樹	谷野 順子
義井 裕子	津田 公子	成瀬 絵里子	木村 淑江	楠本 啓子
大村 恵子	奥山 喜正	小池 耕一	河合 みち子	須田 静代
横田 明典	水野 享好	金田 好美	三輪 玲子	榛葉 英子
丸山 恵津子	滝村 美智子	伊藤 暁子	溝口 キミ子	宮川 昭明
脇田 純子	牛田 ヒサ	山中 高	瀬口 昭代	亀田 隆子
真木 芳子	藤澤 深根子	竹田 朋子	鈴木 恭子	曹 誉戸
比企 敦子	持田 由美子	近藤 洋	下村 徹嗣	宇田 ゆき子
榊原 喜代子	宮崎 正和	柏木 實	杉山 清美	山崎 眞由美
神戸 一子	見木 靖美	梅村 亜恵	鄭 成子	安藤 香代
足立 克己	吉岡 満智子	伊藤 和子	黛 八郎	中山 成一郎
木村 慎吾	高山 慶子	楽 有紀美	若林 治郎	阿部 健二
伊藤 秀章	荒竹 ひろみ	細川 拓	倉田 節子	本間 愛子
榎本 久美江	石田 利彦	矢口 由美子		木下 久美子

森 宏士・起美恵 加藤 明宏・朱美 佐藤 正幸・純子
 吉谷 尚之(複数回) 柴田 京子(複数回) 島 しづ子(複数回)
 愛知守山教会女性の会 京都みぎわキリスト教会 教団)豊橋教会ひつじの会
 日本福音ルーテル復活教会 日本キリスト改革派八事教会 済美高等学校宗教部
 教団)豊山教会 名古屋ワイズメンズクラブ 一般財団法人平塚YWCA
 在日大韓基督教会大阪教会女性会 教団)信濃村教会 教団)中京教会
 日本キリスト改革派金沢教会 教団)坂下教会 教団)豊田教会 教団)鳴海教会
 埼玉新生教会女性会 教団)広路教会 在日大韓基督教会豊橋教会
 名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園 教団)名古屋新生教会 教団)御器所教会
 在日大韓基督教会小倉教会 教団)久ヶ原教会 教団)各務原教会
 教団)大野教会 教団)上大岡教会 教団)豊明新生教会 教団)刈谷教会
 南山幼稚園 教団)名古屋桜山教会シャロンの会 学校法人捜真学院
 教団)天白教会 公益財団法人名古屋YWCA 浜松聖書集会 喫茶愛実

★ 紙風船夢づくり

大坂 晴一	鈴木 宏始	間瀬 滝子	西村 牧子	後藤 宣彦
荒竹 ひろみ	牧野 みゆき	川口 いづみ	木下 久美子	宮原 祐子
一条 敬子	水島 トミ子	森永 富喜子	荒川 敦子	竹山 徹
牧野 雅樹	加藤 百代	田中 孝子		

★ 物品寄付

塚田 多佳子	大野 賢一郎	宮島 映子	上野 嶺	西尾 克彦
青本 和彦・光子				

ご協力ありがとうございました。

ボランティアでお世話になった方

名古屋ワイズメンズクラブの皆様 南山幼稚園ミュージックベルサークルの皆様
趙 博 様 森田 猛 様(紙風船) 永田 友香 様(紙風船)

ご協力ありがとうございました。

紙風船にボランティアで来てくださっていた永田友香さんが、この春で大学を卒業され、新たな道に進まれます。いつも明るくメンバーの皆さんとお話をされていて、なんでも笑顔でこなしてしまう永田さん。紙風船のメンバーさんもアシスタントもとても頼りにしていました。今までのように会えないのは寂しいですが、新しい場所での活躍に期待しています！時々、紙風船にも遊びに来てくださいね。
永田さん、3年半お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

事務局からのお知らせ

2019年度の寄付金総額は270万円となりました。(2月末現在)

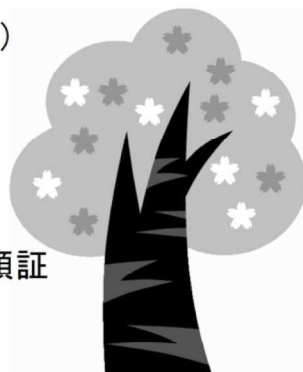
内訳 愛実の会寄付金 259万円

紙風船夢づくり 11万円

多くの方のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

どうぞ引き続き愛実の会をよろしくお願い致します。

尚、当法人への寄付は、寄付金控除の対象となりますので、寄附金受領証明書は1年分を大切に保管ください。



【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

☐ 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL: 052-693-7645 FAX: 052-746-2639

☐ 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ <http://aminokai.com>

または

愛実の会

検索

【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 ☐ 座番号 00850-6-187490

☐ 座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

◆ 寄付金(賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用)

◆ 紙風船夢づくり(人形劇制作費、公演活動に関する費用)